

## 西伊豆健育会病院

柴崎 智恵(2階病棟 看護師)

**功 績** 褥瘡委員会副委員長として、様々な取り組みを行い、褥瘡発生を大きく抑え、改善が発生を上回る結果を出した功績。(2017年に副委員長に就任)。

2017年：57件発生⇒49件改善(+8：改善率86.0%)  
2018年：49件発生⇒44件改善(+5：改善率89.8%)  
2019年：13件発生⇒14件改善(-1：改善率107.7%)  
今年度は6ヵ月で13件と発生自体も大きく抑制できている。

**推 薦 者** 伊東 陽子

**推 薦 理 由** 柴崎は部門目標達成に向けた取り組み、後進の育成、委員会活動など、多岐にわたってその役割を果たし、今後の西伊豆健育会病院を支えていく看護師の中の一人です。今回、自身が副委員長を務める褥瘡委員会において素晴らしい取り組み・結果を出しましたので理事長賞に推薦致します。

### 内 容

---

2階病棟 看護師の柴崎は入職4年目の看護師です。当院、入職前は近隣診療所に勤務しており、病棟で患者さんやご家族から声を掛けられることも多く、同僚をはじめ、地域住民からも頼りにされている存在です。現在、柴崎は病棟チームのリーダーとして、部署目標達成に向け取り組んでいます。今年度、2階病棟の目標は全患者さんへ、より個別的な看護計画を立案するです。患者さん個人個人の疾患・怪我の状態、ADL、思いや希望に寄り添った看護計画を作成することで、患者さんの尊厳を重視した看護の実践に取り組んでいます。特に、終末期と退院支援に力を入れており、先日柴崎は「リハビリを頑張って早く家に帰りたい。」と希望する患者さんに対して、退院前の1週間、毎日昼食前と午後、階段の上り下りを一緒にしていました。患者さんは「柴崎さんが忙しいことは、私も十分わかっていたので本当に嬉しかった。」と、退院の時に笑顔で話してくれました。

さらに、柴崎は後進の育成にも力を入れており、今年度は、プリセプターが役割を発揮するにはどうすれば良いか?に視点を置き、看護研究に挑戦する等、中堅看護師として常に後輩指導を意識しています。

また、柴崎は2年前より褥瘡委員会の副委員長として、褥瘡発生減に向けて取り組んでいます。就任当初(2017年)は57件発生⇒49件改善(+8：改善率86.0%)、2018年は49件発生⇒44件改善(+5：改善率89.8%)と褥瘡発生数は減少し、改善率も上昇しています。今年度に入ってから柴崎は、セラピストによるポジショニングの全体勉強会と併用し、個別的なポジショニングについてアドバイスを依頼するなど様々な対策に取り組み、13件発生⇒14件改善(-1：改善率107.7%)と発生を大きく抑制するとともに、改善が発生を上回り、

また深い褥瘡の発生もありません。

こうした部門目標達成に向けた姿勢、後進の育成、委員会活動での活躍する姿など、これから西伊豆健育会病院を支えていく看護師の中の一人として柴崎を理事長賞に推薦致します。